

新年度のスタートに当たって

青梅労働基準監督署長

滝澤 成

西多摩建設業協同組合の皆様には、平素より労働基準行政の推進に当たり一方ならぬご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、経営面においても安全面においても現場の善し悪しは作業所長に掛かっているといえるのかと思いますが、株式会社熊谷組で長らく所長を務められた中村明人さんは、「できる」作業所長の要件として

①「できる」所長はきれいな好き、現場の整理整頓がしっかり行き届いている。無駄がないことに通じている。無理、無駄の排除が自然とできていくのである。

と記されています。（「ゼネコン・レポート」現場の目、所長の目「同時代社刊」）その他にも何点か指摘されていますが、きちんとした施工管理ができ、儲かる現場にする実力は、安全管理にも共通しており、「安全は儲かる課題」と言い換えることができるのではないのでしょうか。

「平成22年度 建設業労働災害防止実施計画」の概要

建設業労働災害防止協会

当協会では、平成20年度を初年度とする「建設業の労働災害防止に関する中期計画と今後の展望(第6次建設業災害防止5カ年計画)」に基づき、「平成22年度建設業労働災害防止実施計画」を策定しました。

会員各位におかれましては、この本実施計画を参考に、経営トップの明確な安全衛生方針のもとに各企業の実態に即した安全衛生計画を策定し、関係者がそれぞれの役割に応じて実効ある労働災害防止活動を積極的に実施されますようお願いいたします。

《計画の基本方針》

平成22年度は、次の事項を重点に労働災害防止活動を推進し、安全衛生水準の一層の向上を図ることとする。

1. リスクアセスメントの確実な実施
2. リスクアセスメントを取り入れた各種安全衛生教育の推進
3. 建設業労働安全衛生マネジメントシステム(コスモス)の導入、実施の推進
4. 協会が主唱する労働災害防止運動の徹底
 - (1)三大災害(墜落・転落災害・建設機械・クレーン等災害・倒壊・崩壊災害)絶滅運動
 - (2)安全施工サイクル運動
5. 建設業労働災害防止規程の順守
(建設の安全4 No.462より 掲載)

青梅監督署だより No.36 [平成22年4月] から

青梅署管内労働災害発生状況

3月5日現在(速報値)での平成22年の死傷災害の発生状況は、全産業合計で対前年同期比が東京全体では0.5の増加となっていますが、青梅署管内では、2.5%減少となっています。

青梅署管内では保健衛生業が前年同期10件から3件へと大幅に減少している一方、接客娯楽業が1件から6件へと増加しています。

青梅署管内死亡災害については、右記に記載したとおり、本年に入って3件発生しており、今後、死亡災害撲滅に向けた取り組みが喫緊の課題です。

4月は新入社員や人事異動で職場になれない人たちが多く入ってきます。作業手順や危険・有害な作業場所等については、安全衛生教育の徹底をお願いいたします。

(3月5日現在)

業種	21年	22年
製造業	8	① 8
建設業	4	① 4
運輸交通業・貨物取扱業	6	5
商業	2	3
保健衛生業	10	3
接客娯楽業	1	6
清掃・と畜業	1	1
その他の三次産業	6	5
上記以外	2	① 4
全産業計	40	③ 39

○は死亡(3月末日現在)

！！死亡災害続発！！
本年に入って死亡災害が3件連続して発生しています。

昨年は交通事故による死亡災害が1件発生したのみでしたが、本年は3月末日時点で既に3件の死亡災害が発生しています。

- ①平成22年2月9日(火)
セメント製品製造業 30歳代 経験9年
災害発生状況:アスファルトプラントのベルトコンベアが異常停止したため、被災者は、復旧作業を行うため、ベルトコンベア下部の砂を取り除く作業を担当していたが、本運転実施後にベルトコンベアに巻き込まれているのが発見されたもの。
- ②平成22年3月3日(水)
林業 60歳代 経験10年
災害発生状況:事業主の山林の草木の刈り払い作業を行うため入山したが、崖下で死亡していた被災者が発見されたもの。
- ③平成22年3月20日(土)
電気通信工事業 20歳代 経験1年
災害発生状況:低圧電線撤去工事において、電柱(木製)に登って作業していたところ、電線切断直後に、登っていた電柱が根本から折れ、頂部付近で胴綱を着けて作業をしていた被災者が電柱もろとも地面に倒れて被災したもの。

青梅労働基準監督署
青梅市東青梅2-6-2

平成二十一年の西多摩地区における建設業の労働災害は、前年の七十一件から五十八件へと大幅に減少しました。これも皆様の日頃の安全衛生活動の積み重ねによるものと思っております。業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況にありますが、引き続き積極的な取り組みをお願い致します。

末筆になりましたが、会員各社の益々のご繁栄を祈念いたします。

◇ 日建学院認定校青梅校からの案内 ◇

受講生募集案内 『合格のための受験準備講座』

- ◎ 宅地建物取引主任者 受験対策講座 (四月二十一日 スタート)
- ◎ 二級土木施工管理技士 受験対策講座
- ◎ 二級建築施工管理技士 受験対策講座

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅教室を開講いたしますので、会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

*詳細説明は随時致します。 *先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅校(西建協)事務局 0428-22-6245 石川
日建学院立川校 0421-52713291 担当澤田

西多摩地区工事場所別保証取扱高

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

東日本建設業保証(株)新宿支店

本資料は、当社の保証実績(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条1項に規定する公共工事で前払金保証契約が締結されたもの)をもとに作成しています。

工事場所	国		都		市町村	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
青梅市	1	168,000	80	3,352,683	117	3,316,658
福生市	18	11,592,590	11	235,525	35	861,242
羽村市	0	0	12	1,553,971	11	452,182
あきる野市	0	0	53	2,039,607	76	1,398,618
瑞穂町	1	118,650	14	446,714	33	542,650
日の出町	2	15,256	7	114,473	4	158,235
奥多摩町	0	0	80	2,467,760	22	1,556,477
檜原村	0	0	29	895,448	4	169,333
計	22	11,894,496	286	11,106,185	302	8,455,397

(金額単位:千円)

3月事業報告

- 5日 広報委員会188号編集発行
- 8日 臨時理事会
- 11日 あきる野地区委員会
- 15日 総務委員会
- 16日 年度末工事現場パトロール
2班 3現場 (西多摩分会・技術安全部会)
- 17日 理事会

4月事業計画

- 9日 広報委員会189号編集発行
- 12日 総務委員会
- 14日 理事会
- 日 事業委員会 (開催日未定)
- 16日 あきる野地区委員会
- 22日 若手経営者の会 役員会

《第44回 通常総会開催》

日時 5月19日(水曜日)
会場:青梅市福祉センター 3階

総会 午後4時 うめ
懇親会 午後6時 ふよう

《3月17日(水) 理事会報告》

- ①報告事項
 - ・各委員会事業報告
- ②審議事項
 - ・21年度決算(2月末実績確認)状況
 - ・役員改選
 - ・事業計画・予算
 - ・第44回通常総会準備・日程運営の件
 - ・その他

賛助会員PRコーナー No.20

「環境創造企業として、持続可能な
ゼロ・カーボン社会構築に貢献します」
株式会社エコワスプラント



平素より、西多摩建設業協同組合の皆様方には格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は、産業廃棄物の収集運搬・中間処理を行っており、現在の再資源化率は91.7%に達しています。

各自治体から「優良業者認定」を頂き、本年1月には東京都より「産廃エキスパート」認定も頂きました。廃棄物処理は、「安かろう悪かろう」の言葉通り、コストをかけなければ適正処理、適正再資源化はできません。私たちは、口先だけのリサイクルではなく、積極的に情報公開をし「処理の見える化」を一層推進しながら従業員一同、本気で廃棄物の適正処理、再資源化の推進、カーボンオフセット等に取り組んでいます。

本国会では、廃棄物処理法の改正が行われ、①産業廃棄物を事業所の外で保管する際の事前届出制度を創設 ②建設工事に伴い生ずる廃棄物について、元請業者に処理責任を一元化等、排出事業者責任がさらに強化されました。

私たちは、今後も皆様のご理解を頂きながら、信頼のおける処理業者として微力ながら小口回収、分別指導等、各種サービスを取り揃え努力してまいります。今後ともよろしく願いいたします。



〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井34-1
TEL 042-588-0072 FAX 042-588-0425

<http://www.ecowasplant.co.jp>

株式会社エコワスプラント
代表取締役 浅尾 洋和

写真が語る西多摩(今昔)

第12回

◇産業道路羽村街道交差点(羽村市)

昭和38年完成したばかりの産業道路。羽村街道交差点付近より福生方面を見る。幅員25メートルの4車線道路。まだ道路の周囲は、わずかに建物が見え広々とした景観。

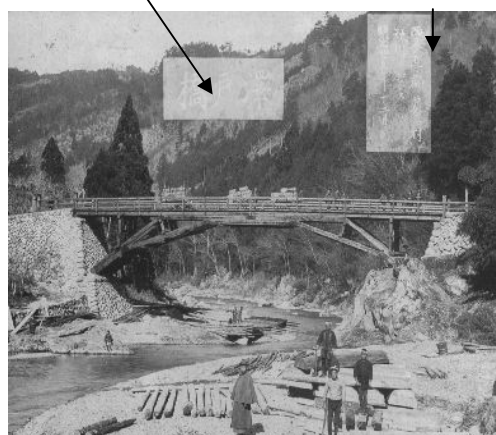


現在の羽村街道交差点付近。景色も一変し何もなかった道路周辺には大きな建物が建ち並び、車がひっきりなしに走っている。

◇沢渡橋(あきる野市戸倉)

澤渡橋架替工事

明治43年12月記載



現在の沢渡橋は下流に移った

